

11 課

9月14日

捕らえられ、裁かれる



in the Garden of Gethsemane

「アツバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」
(マルコ14:36)

杯 : ποτήριον

☑ 2024 Hajime Taniguchi



イエスは公生涯中、過越祭 Passover に四回行かれた → ①～④

		聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 8 / 聖句等の総数 33250]	
S ヨハネによる福音書 ①	2:13 ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。	
S ヨハネによる福音書 ②	5:1 その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムに上られた。	
S ヨハネによる福音書 ③	6:4 ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。	
S ヨハネによる福音書 ④	12:1 過越祭の六日前に、イエスはベタニアに行かれた。そこには、イエスが死者の中からよみがえらせたラザロがいた。	
S ヨハネによる福音書	13:1 さて、過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。	
S ヨハネによる福音書	18:28 人々は、イエスをカイアファのところから総督官邸に連れて行った。明け方であった。しかし、彼らは自分では官邸に入らなかった。汚れないで過越の食事をするためである。	
S ヨハネによる福音書	18:39 ところで、過越祭にはだれか一人をあなたたちに釈放するのが慣例になっている。あのユダヤ人の王を釈放してほしいか。」	
S ヨハネによる福音書	19:14 それは過越祭の準備の日の、正午ごろであった。ピラトがユダヤ人たちに、「見よ、あなたたちの王だ」と言うと、	

イエスを殺す計画(マルコ14章)

※過越祭(ペサハ)はニサン(第一)の月(3月中旬～4月中旬)に行われる。

太陽暦・ヘブライ暦・ユダヤ暦・バビロニア暦

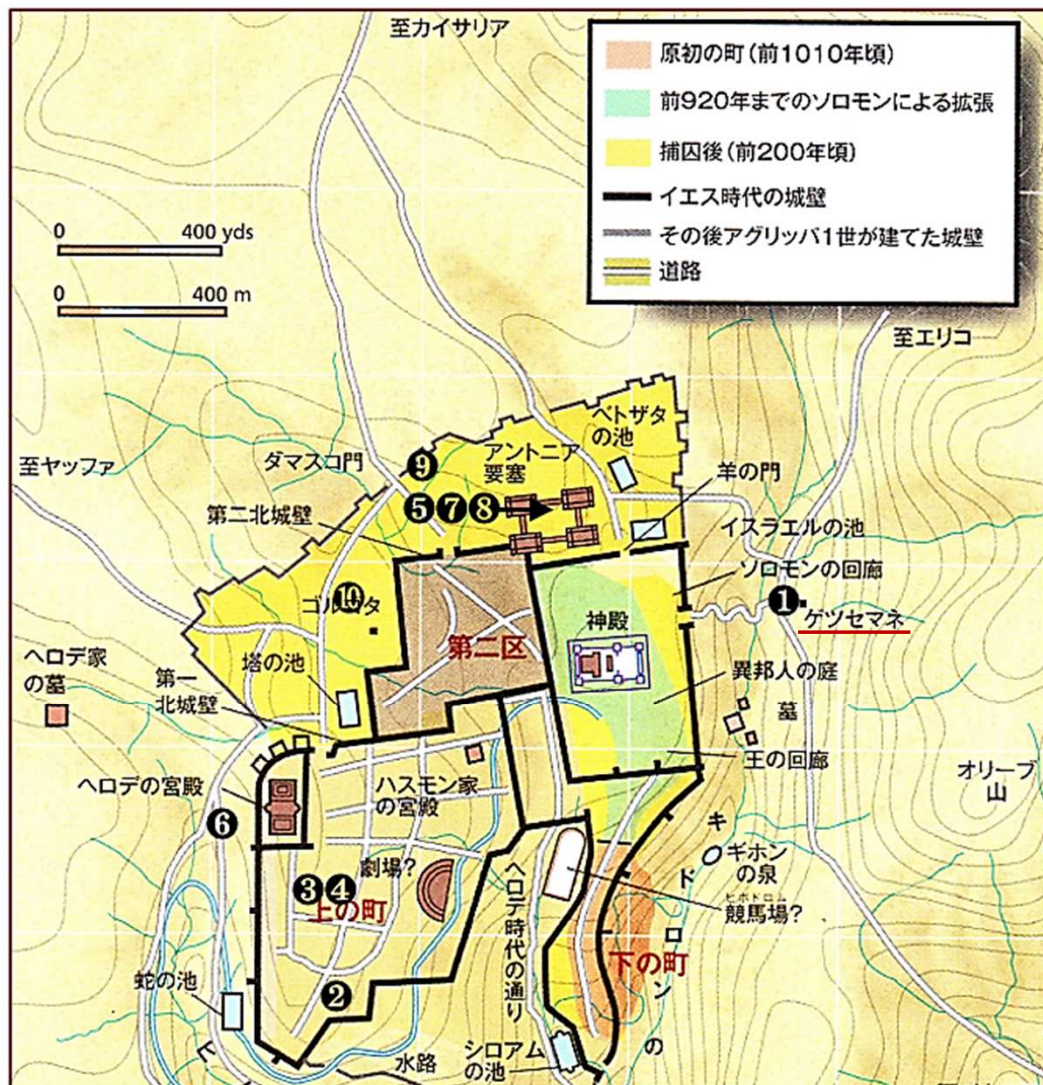
太陽暦	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月(ヘブライ暦)	第一の月	第二の月	第三の月	第四の月	第五の月	第六の月	第七の月	第八の月	第九の月	第十の月	第十一の月	第十二の月	
ユダヤ暦	ニサン Nisan, Nissan	イヤール Iyyar	シバン Siwan, Sivan	タムーズ Tammūz	ア ブ Abh, Av	エルール Elul	ティシュリ Tishri	マルハ シユバン Marcheshwan	キスレーヴ Kislew, Kislev	テベット T'ebheth	シユバット Sabhāt	アダール Adhār, Adar	
バビロニアの月名 ():カナン の古称	ニサン (アビブ)	イヤール (ジウ)	シワン	タンムズ	ア ブ	エルル	ティシュリ (エタニム)	ハシユワン (ブル)	キスレウ	テベト	シエバト	アダール	
主な行事	←←← 七週間		→→→ 七週祭(シャブオット)→詩編68:2~4を朗読 五旬祭(ペンテコステ Pentecoste ギリシア語) ★ユダヤの三大祭:①過越祭、②七週祭、③仮庵祭		1:新年 新年祭(ロシユ・ハシャナ)※1 10:大贖罪日(ヨム・キップール)※2 15~21:③仮庵祭(スコット)			25:宮清めの祭(光の祭り、ハヌカ) (25日~8日間) ※1:Rash Hashanah(ヘブライ語) (頭) (年) ※2:Yom Kippur(ヘブライ語) 大いなる贖罪の日 →レビ記16:29、23:27、25:9、民数記29:7					

14~21

①過越祭(ペサハ) = ニサンの月の14~21日

- ①過越祭(過越しの祭り):ニサンの月の14日の日没~15日の日没
- ②除酵祭(種を入れないパンの祭り):15日の日没~21日の日没

イエスの逮捕、尋問



①裏切られ、逮捕される

- ▶ マタイ 26 : 47~56
- ▶ マルコ 14 : 43~52
- ▶ ルカ 22 : 47~53
- ▶ ヨハネ 18 : 01~11

②大祭司アンナスのもとに連行され、尋問を受ける

- ▶ ヨハネ 18 : 12~14、19~24

③大祭司カイアファ(アンナスの義理の婿)の家に連行される

- ▶ ルカ 22 : 54

④最高法院で裁判を受ける

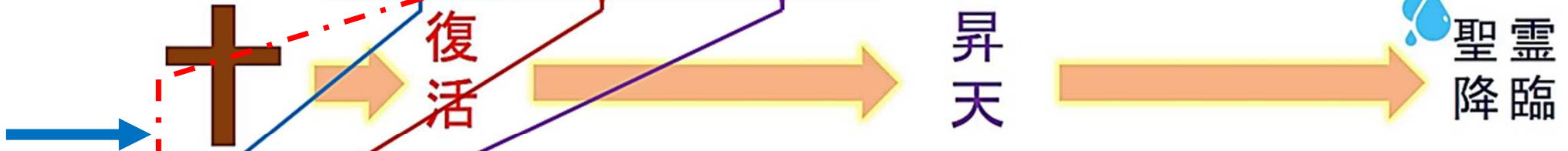
- ▶ マタイ 26 : 57~27 : 01
- ▶ マルコ 14 : 53~15 : 01
- ▶ ルカ 22 : 66~71

⑤ピラトから尋問される



イエスの十字架と過越祭、除酵祭等

異邦人時間	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)
	Ⓚ 24 6 12 Ⓚ	Ⓚ 24 6 12 Ⓚ	Ⓚ 24 6 12 Ⓚ	Ⓚ 24 6 12 Ⓚ
日没	←←←1日→→→	←←←1日→→→	←←←1日→→→	←←←1日→→→
10	ニサンの13(木)	14(金)	15(土) 安息日	16(日)
傷のない雄の小羊又は山羊		準備の日～過越祭	1日目	2日目
	最後の晩餐：1日3時	イエスの逮捕：九時 十字架の死：三時	過越祭の食事 特別の安息日 (ヨハネ19:31) ユダヤ(バビロニア)暦日没基準	イエスの復活・顕現



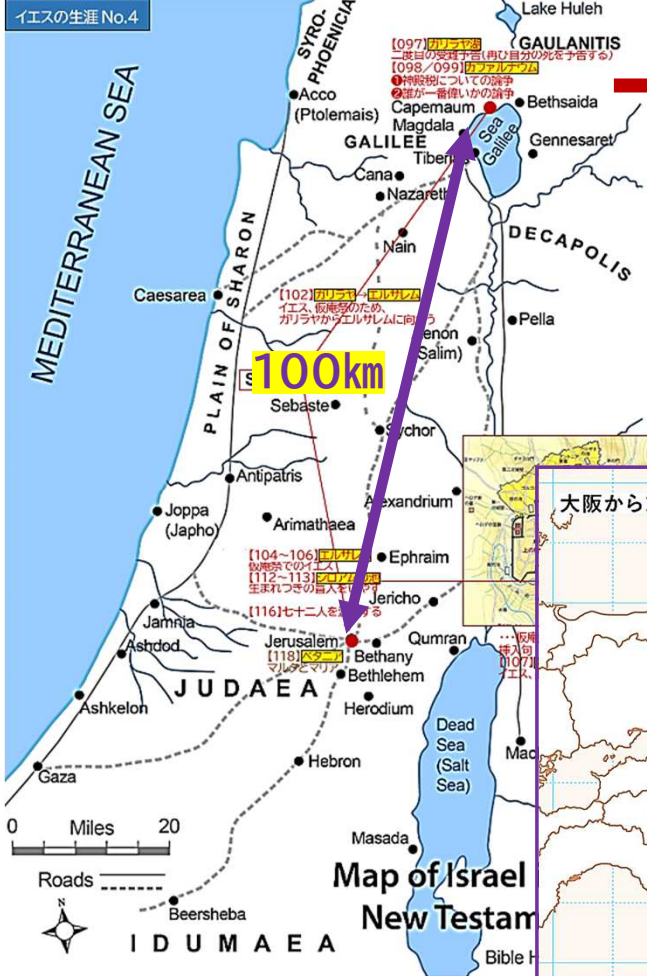
★マル14
ニサンの
11日(火曜)の
夜～12日(水
曜日)

1	2	3日目	2日目	3日目	...	39日目	40日目	41日目	42日目	...	49日目	50日目
金	土	日	月	火	...	水	木	金	土	...	土	日
三日目に復活(マタイ16:21他)			復活から四十日にわたって(使徒1:3)				復活から50日後に集まって祈っていた弟子たちの上に、聖霊が降った(使徒2:1~4) →聖霊降臨日(春の収穫感謝祭の「五旬祭(ペンテコステ)」の日)					

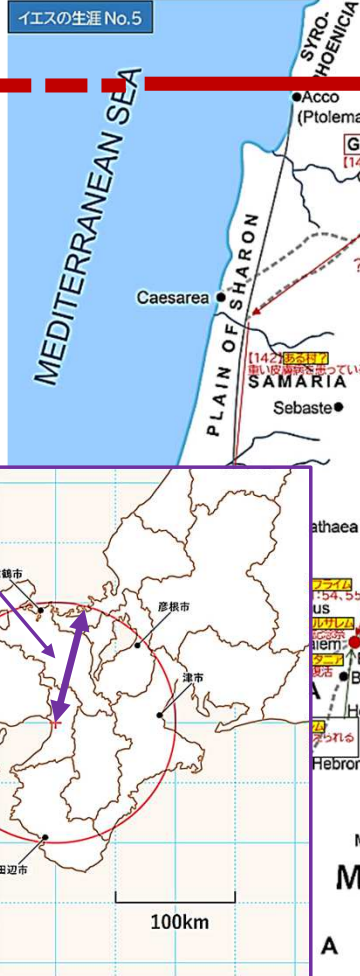
マルコによる福音書	★ ◆イエス、死と復活を予告する 8:31~37
	8:31 それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教え始められた。
	★ ◆再び自分の死と復活を予告する 9:30~32
	★ ◆イエス、三度自分の死と復活を予告する 10:32~34
	◆復活についての問答 12:18~27
	◆神殿の崩壊を予告する 13:1~13
	◆大きな苦難を予告する 13:14~23
	◆ペトロの離反を予告する 14:27~31
	14:28 しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」
	◆復活する 16:1~8
16:7 さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」	

イエス(メシア)の生涯

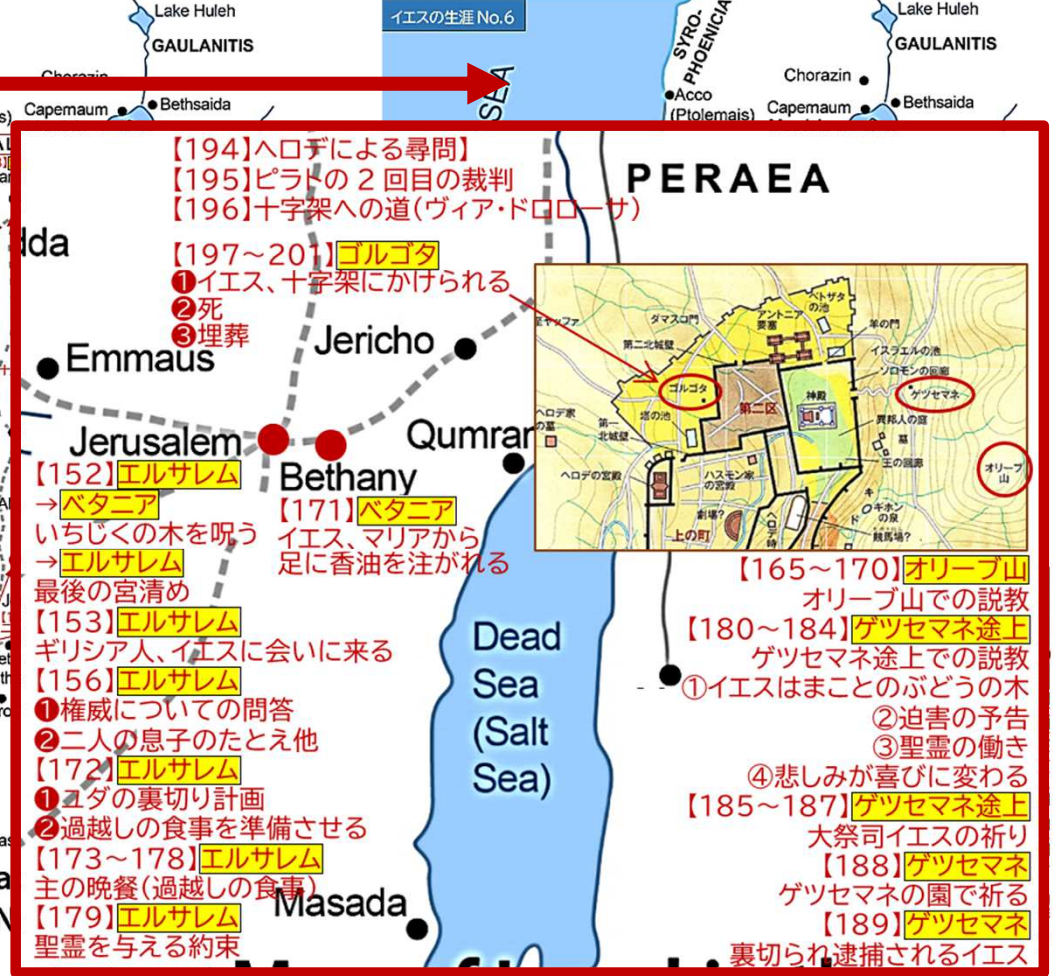
【097 - 118】



【130 - 151】



【152 - 201】



イエス(メシア)の生涯

マルコによる福音書14:36

こう言われた。「アツバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」

聖書協会共同訳

こう言われた。「アツバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯を私から取りのけてください。しかし、私の望みではなく、御心のままに。」

口語訳

アバ、父よ、あなたには、できないことはありません。どうか、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころのままになさってください」。

御心のままに

マタイによる福音書	26:39 少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、 御心のままに （=あなたの思いのままに）。」
マルコによる福音書	14:36 こう言われた。「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」 →聖書協会共同訳：こう言われた。「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯を私から取りのけてください。しかし、私の望みではなく、 御心のままに 。」
ルカによる福音書	1:38 マリアは言った。「わたしは主のはしためです。 お言葉どおり 、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。
ルカによる福音書	22:42 「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、 御心のままに 行ってください。」

📖 人の子が来る【予告】(マルコによる福音書13:24~27)

「それらの日には、このような苦難の後、／太陽は暗くなり、／月は光を放たず、25星は空から落ち、／天体は揺り動かされる。26そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見る。27そのとき、人の子は天使たちを遣わし、地の果てから天の果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。」 ➡ I テサ4:14~18 ➡ I コリ15:1~58

📖 最高法院で裁判を受ける【一コマ】(マルコによる福音書14:60~65)

そこで、大祭司は立ち上がり、真ん中に進み出て、イエスに尋ねた。「何も答えないのか、この者たちがお前に不利な証言をしているが、どうなのか。」61しかし、イエスは黙り続け何もお答えにならなかった。そこで、重ねて大祭司は尋ね、「お前はほむべき方の子、メシアなのか」と言った。 ● ●

62イエスは言われた。「そうです。あなたたちは、人の子が全能の神の右に座り、／天の雲に囲まれて来るのを見る。」 ➡(並行記事)マタイ26:64、ルカ22:69

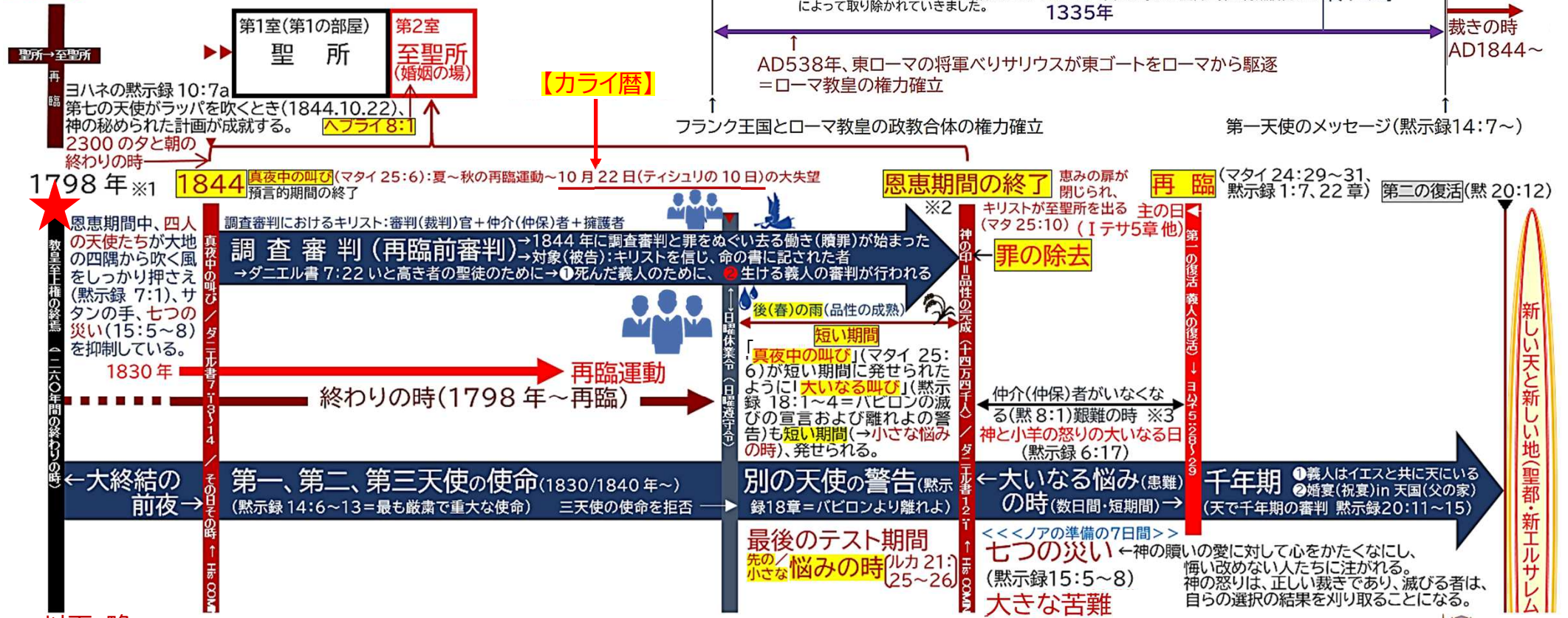
63大祭司は、衣を引き裂きながら(→レビ10:6、21:10)言った。「これでもまだ証人が必要だろうか。64諸君は冒瀆の言葉を聞いた。どう考えるか。」一同は、死刑にすべきだと決議した。 …65 略…

📖 ダニエル書7:13~14

夜の幻をなお見ていると、／見よ、「人の子」のような者が天の雲に乗り／「日の老いたる者」の前に来て、そのもとに進み／14権威、威光、王権を受けた。諸国、諸族、諸言語の民は皆、彼に仕え／彼の支配はとこしえに続き／その統治は滅びることがない。

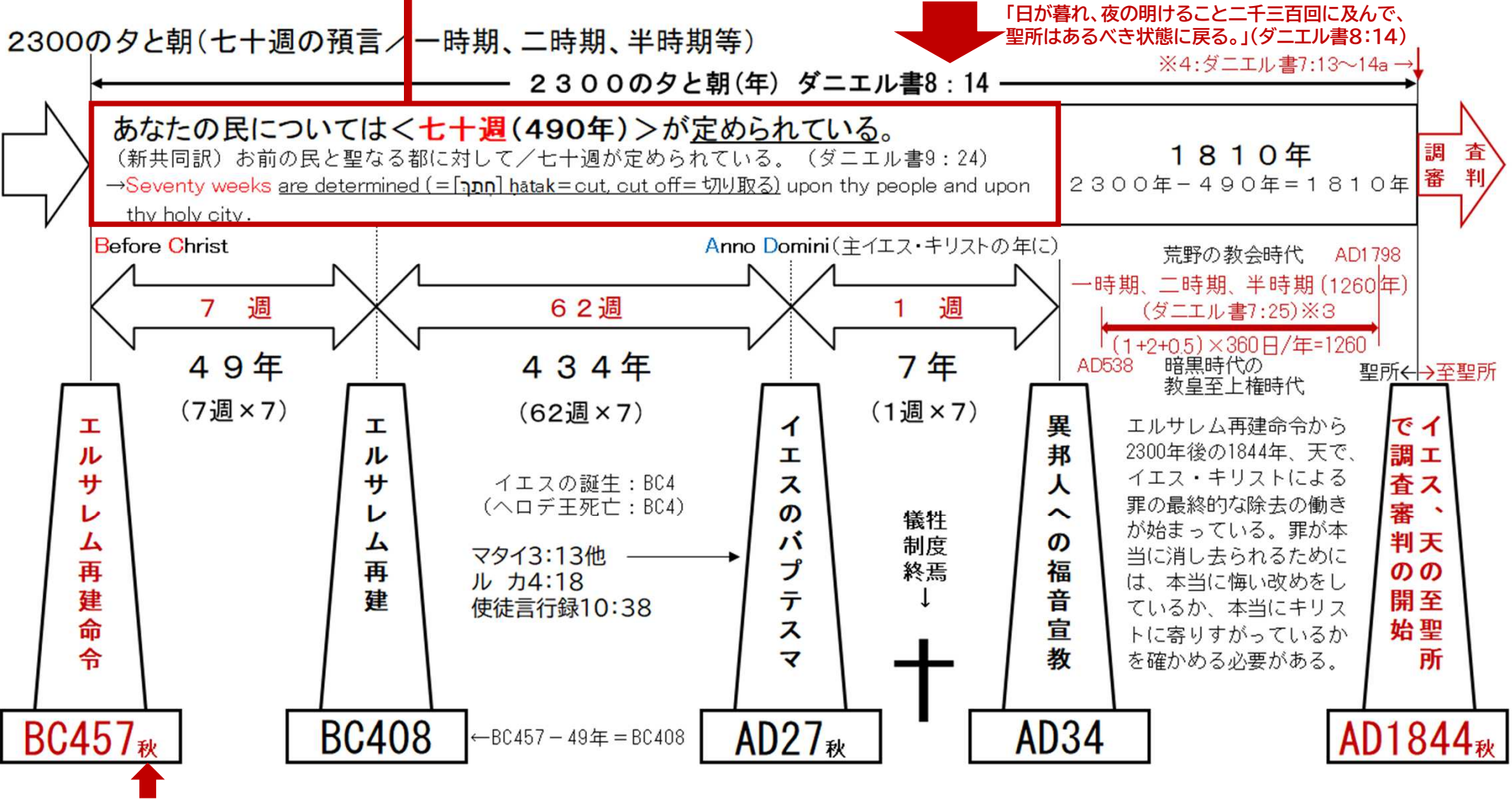
☑ 神の裁き：①義人の救い/幸福 (主の裁き) ②悪人の滅び/敗北
the judgement of God / his judgements

【略図】神の救いの計画



以下、略

Seventy weeks are determined (= חַטָּף חסאָפּ = cut off = 切り取る) upon thy people and upon thy holy city.
ヘブライ語





コリント信徒への手紙Ⅰ	15:2 どんな言葉でわたしが福音を告げ知らせたか、しっかり覚えていれば、あなたがたはこの福音によって救われます。さもないと、あなたがたが信じたこと自体が、無駄になってしまうでしょう。
コリント信徒への手紙Ⅰ	15:10 神の恵みによって今日のわたしがいるのです。そして、わたしに与えられた神の恵みは無駄にならず、わたしは他のすべての使徒よりずっと多く働きました。しかし、働いたのは、実はわたしではなく、わたしと共にある神の恵みなのです。
コリント信徒への手紙Ⅰ	15:58 わたしの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば自分たちの苦労が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずです。
コリント信徒への手紙Ⅱ	6:1 わたしたちはまた、神の協力者としてあなたがたに勧めます。神からいただいた恵みは無駄にしてはいけません。
テサロニケの信徒への手紙Ⅱ	3:11 ところが、聞くところによると、あなたがたの中には怠惰な生活をし、少しも働かず、余計なことをしている者がいるということです。



三田聖書研究会